

だんだんと冬の足音が聞こえてきましたね。大切なペットと快適な冬を過ごせるよう、早めの冬支度を始めましょう。

特に、心臓病や腎臓病・関節の病気を持っている犬にとって、冬は厳しい季節です。また、パルボウイルスやジステンパーウイルスなどの感染症が流行する時期でもありますので、動物病院で早めにワクチン接種をしましょう。

アレルギー性皮膚炎など皮膚が敏感な犬や呼吸器の弱い犬は、ダニやカビ、ほこりが苦手です。ほこりなどを吸い込ませないよう、エアコンのフィルター掃除は忘れないでください。保湿機や保湿用の



⑬

冬に備えて

スプレーなどを用意しておくのもいいですね。

また、年末年始には飼い主が飲食を楽しむ機会が多くなります。与えてはいけない食材やお酒を口にし、動物病院に駆け込んでくる犬が増えるので、くれぐれも注意してください。

犬の場合、冬は体温を維持するために基礎代謝が高くなります。自然と食欲も出て、食事の量が増える傾向にあります。欲しがるだけ食事を与えず、いつもの量をキープして体重が増え過ぎないように注意しましょう。

散歩は肥満予防の観点から非常に重要です。寒い季節には、飼い主も外に出るのがおっくうになってしまいます。でも、散歩をしないと犬の体重はどんどん増えてしまいます。

寒い冬でも、犬の楽しみは大好きな飼い主と一緒に遊ぶこと。飼い主の健康維持にも役立ちますので、風邪を引かないよう、しっかりと防寒対策をして積極的に散歩に出かけてくださいね。

(チームホープ、兵庫ペット医療センター院長

有里正夫)